

-----12月3日-----

※ 今週のアウトルック (12/3~12/7)

先週は米国財政の崖への懸念や、利益確定売りなどにより、膠着感が強い週となりました。

今週も前半は、米国雇用統計などを睨んだ展開が予想されるため、大きく動きづらい展開になることが予想されます。雇用統計発表後の動きについては、予想外の展開になった場合、円安、あるいは円高に大きく傾く可能性もあるように思います。

ドル円は、82円から82.5円付近を中心とした、狭いレンジでのみみ合いが続いています。

今週前半もその動きを引き継ぐように思いますが、雇用統計発表後の動きについては、予想外の数字が出た場合、大きく傾くとも予想されます。悪い数字が出た場合の、リスク回避への動きには注意が必要ないように思います。

ドル円の予想レンジは81円から83円です。

ユーロは先週まで、ギリシャ問題の楽観視などからリスクテイク的な動きとなっていました。

今週は先週末に発表された、ユーロ圏の悪い失業率に関心が集まった場合には、ユーロ売りトレンドに転換することも考えられます。

米国雇用統計後の動きと合わせて、リスク回避への転換には注意が必要です。

ユーロ円の予想レンジは104円から108円です。

ポンド円は133円付近の厚いレジスタンスに阻まれて、ポンド高トレンドに大きくブレーキがかかっています。

今週このラインをブレイクできない場合には、来週あたりからクリスマス休暇前の利益確定売りにおされて、ポンド安トレンドに転換する可能性が高いかもしれません。

ポンド円の予想レンジは130円から134円です。

今週は米国雇用統計を睨んだ展開となりそうですが、ユーロ圏の楽観ムードをどこまで維持できるかにも注目が集まりそうです。

急激なトレンド転換には注意が必要です。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。